



デジレコ編集部があなたの高校に参上!

DIGIRECO BAND CLINIC



第91回 新渡戸文化高等学校 軽音楽部

〒164-0012 東京都中野区本町6-38-1

第91回目のデジレコ・バンド・クリニックの実施校は新渡戸文化高等学校です。創立は1927年と非常に歴史のある学校で、東京メトロ丸ノ内線の東高円寺駅から徒歩5分のところに位置しています。同校は普通科でありながらコース制を導入しており、特進医療理系、特進文系、美術、音楽、スポーツ、クッキングという6つのコースがあるそうです。早速、軽音楽部の様子を顧問の塚越 環先生に伺いました。

一 軽音楽部の歴史を教えてください

塚越: 本校の教頭が軽音楽部の副顧問なので、当時の様子を聞いたところ、教頭が本校に着任された平成元年には軽音楽部があったそうです。ですので、創部からは31年以上が経過しています。本校の部活動の1つでしたが、雰囲気としては同好会やサークルに近く、立派な機材はあるけれど、部員たちは

しっかりと活動できていなかったと聞いています。その後、教頭が「このままでは、部活動として成り立たない…」と考え、積極的に活動を始めたそうです。

一 主な練習場所を教えてください

塚越: 軽音楽部の部室と音楽準備室の2ヶ所です。ドラムセットが2台あるので、それぞれの部屋でバンド練習をしています。利用方法に関しては事前に用紙を渡して、各バンドの希望を聞いています。一度に練習できるのが最大で2バンドなので、月曜日から土曜日までのシフトを組み、練習に取り組んでいます。

一 全体ミーティングや全体練習はしていますか

塚越: 練習のあるバンドは活動前に必ず集合し、どんな練習をするのかを話し合っています。活動を終えた後も部室に集合し、反省会を開いて、次はどんな活動をするのかをミーティングで確認してから解散としています。お互いの進捗状況がわかり、刺激を受け合っているようです。全体練習に関しては毎週土曜日に取り組んでおり、「強化練習日」ということで、週ごとにメニューを変えています。内容はCDを聴いたり、筋トレをしたり、ボーカル・トレーニングや全体ミーティングなど、様々です。

一 貴校らしいユニークな練習方法がありますか

塚越: やはり土曜日に行っている「強化練習」です。筋トレやボーカル・トレーニングは他校さんにもされていると思うのですが、「CDを聴く会」というのはあまり聞いたことがないので、ユニークだと自負しています。週ごとに担当を決めており、その生徒が皆に聴いて欲しいと思う曲や伝えたい曲を用意し、アレンジについて検証してみたり、楽曲のテーマや構成を考えるようにしています。

一 軽音楽部のモットーやスローガン、部則を教えてください

塚越: 「音楽や楽器の演奏だけができてもダメ…」ということで、「挨拶・礼儀・感謝」という3つの大きな目標を掲げ、意識させています。その下に5ヶ条を設けており、「当たり前をできるように」「楽器と聴き手と仲間を大切に」「時間厳守」「メリハリしっかり」「楽しむ」という基本ルールを掲げています。

一 誌面を通して、部員にコメントをお願いします

塚越: 高校生は何にでも挑戦できる時期だと思うので、やりたいことが実現できるように一生懸命、取り組んでください。そこには皆さんを支えてくださる方が必ずいるので、感謝の気持ちを忘れないで欲しいです。今、組んでいるバンドのメンバーも互いに支え合って活動ができていますので、仲間も大切にしてください。あとから振り返った時に「軽音楽部は特別な時間であり、楽しかった!」と思えるような活動をして欲しいと思います。



▲「軽音楽部員としての心構え」や「サウンド・チェックのコツ」ではプロジェクターを使いながら解説しました



▲映像を交えながら、全国の様々な実例を紹介しました



▲コードネームをメンバー間で共有する大切さを解説



▲クリニックでは講師や部員の前で演奏を披露しました



▲演奏後、講評や今後につながるアドバイスを伝えました



▲辻副理事長は「アンサンブルが良くなる練習方法」を担当。「練習」を目的別に仕分けることの大切さを話しました



▲バンド1: LIT OUT



▲バンド2: Chou Chou Meer



▲クリニックを受けたバンドのメンバーによる寄せ書き